

「核と人類は共存できない」ことが立証されている今日、今こそ人命尊重が優先される政策及び再生可能な自然エネルギーへと転換していかねればならない。

二度と原発事故を起こさないために、日本原子力発電は老朽化した東海第二原発の再稼働を断念するとともに、危険極まりないプルサーマル導入も断念し原発を廃炉とすることを求める。

以上、決議する。

土浦市議会

国民宿舎「水郷」の再建及びプール施設等に関する調査特別委員会の設置について

国民宿舎「水郷」及び霞ヶ浦総合公園プールについては、開業以来、本市観光の拠点施設として、市民はもとより県内外の多くの人々に親しまれ利用されてきたところである。

しかしながら、両施設とも施設が老朽化しており、加えて、東日本大震災の影響により、営業を休止するなど、本市観光の振興に大きな痛手となっている。

国民宿舎「水郷」の再建及びプール施設等の整備推進は、多くの市民の願いであり、かつ、観光の振興によるまちの活性化と雇用の確保にも資するものである。

よって、市議会としても、執行部とともに、これらの施設の再建に向けた今後のあり方について、様々な角度から調査研究を図る必要があることから、8名の委員による特別委員会を設置し、閉会中も調査を行っていくものである。

◆国民宿舎「水郷」の再建及びプール施設等に関する調査特別委員会

委員長	竹内 裕
副委員長	安藤真理子
委員	吉田千鶴子
委員	矢口 清
委員	寺内 充
委員	古沢 喜幸
委員	折本 明
委員	沼田 義雄



国民宿舎「水郷」

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

放射線対策として、家庭菜園で採れた野菜等の放射性物質の測定について



吉田千鶴子議員

質問 消費者庁は、放射性物質検査の機器貸与について各都道府県に通知をしているが、本市でも機器の貸与を受けて、家庭菜園等で採れた野菜等を検査し、市民の不安解消に努めることについて伺う。

産業部長 独立行政法人国民生活センターが実施している放射性物質検査機器の自治体への貸与制度に、本市も借り受けの申請をしたところ、貸与されることが決まり、高津庁舎、農林水産課内に配備したと考えている。

機器の運用については、他市の事例等を参考にし、運用計画、運用方針を検討し、放射性物質の検査を実施していきたい。

産業部長 小町の里の振興にとつて、その物語、ストーリーは非常に重要と考えており、小町の里整備に關しても、小野小町に關わる民話や小町万灯等の歴史文化、里山を活かした自然の恵み等の活用が提案されている。

(掲載以外の質問事項)
 ・女性の視点からの防災対策について
 ・キララちゃんバス、コミュニティバス等の危機管理体制について
 ・被災瓦の再利用について



小野小町に関する新たな名所づくりと里の行事に關する行政支援について



柴原伊一郎議員

質問 小野小町の里を整備し、小町伝説にちなんだ、住民主体のイベントを実施するなど、里のイメージアップを図ることによる新たな名所づくりに積極的な行政支援を行うことについて伺う。

(掲載以外の質問事項)
 ・土浦市北部山麓地域の農業観光を基幹とした地域づくりについて